

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いるかデイ中屋敷		公表日 令和8年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	3つの部屋があるので、それぞれの活動に沿って活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	玄関に段差があるが、すのこで1段差を軽減している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	3つの部屋があるため、少人数で過ごせるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日の朝会や職員会議で、話し合いの場を持ち、目標設定とふりかえりを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの評価は、職員間で共有し、改善できることはすぐに行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日の朝会や職員会議において、意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	現在、行っていない。	今後、事務局と密な連携を図り、第三者による外部評価を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	各種研修は機会があれば参加し、参加者はのちに他の職員へ内容等の周知を図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	でき上がった支援プログラムを事務局のHPに掲載している。	今後、必要に応じて支援プログラムの再検討をしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者からの意見も取り入れている。	利用者の課題について、今後更なる分析を行い、計画に生かしていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	定期的に支援会議を行い、職員間で意見交換をして検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	職員全員で、市役所で使っているアセスメント表を利用して確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	担当職員が立案したプログラムについて、他の職員の意見を聴き、良いものは取り入れている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	話し合いの機会を設け、新しい行事の検討や、新規プログラムについて立案している。	

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	普段から利用者の観察に努め、利用者の現状を踏まえてデイサービス計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝会で1日の流れを確認し合い、チームで連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援に必要なことや、共有すべきことは、その日のうちに全職員に伝え共有化を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日誌やケース記録に記録をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	アセスメント表を使い、モニタリングを行い、評価に生かしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	子どもたちに「やりたい」「やりたくない」の選択をさせている。また、どうして「やりたくない」のかを聞くようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	相談支援員とのやり取りを大切にしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	児童センターを利用している子どもが増えているため、児童センターと連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	必要に応じて、学校と連携を図り、情報交換をしている。医療機関へも必要に応じて、情報提供をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	児童発達支援事業所を利用している場合は、連携を図り利用者の様子を確認している。また、いかに教室と情報交換をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	情報提供をすることは可能である。現在、高校等を卒業し就職した利用はならず、そのような機会はない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	必要があれば連携を図りたいが、現在は行っていない。	今後は、定期的に関係する支援センターとの連携を図り、助言を得る機会や、必要な研修を受ける必要があると考える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	地域の公民館図書館を利用する際に、地域の子どもに会うことはあるが、活動を一緒にしているわけではない。	今後は、地域の子どもたちと交流する機会を作っていくことは必要であると考え。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	今現在、参加していない。	今後は、必要に応じて協議会等に参加していきたいと考える。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳や利用者の送迎時に、保護者へ子どもの様子について伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	保護者向けの研修は行っていない。	保護者のニーズを把握しながら、研修の機会を検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	それぞれ変更あれば、その都度お伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	年2回、保護者との面談を行い、子どもや保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	計画を書面でお示しして、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	必要があれば、相談支援を交えて話をしたり、場合に応じて相談支援員を紹介している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	現在、保護者会は設けていない。	今後は、保護者のニーズを把握しながら、保護者会の設立を検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	全職員間で、情報を共有し苦情があった場合は、所長が中心となり、速やかに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月、いらか通信を発行し、保護者や学校及び児童センター等へ配布している。また、通信には、月ごとのプログラムを掲載し、その内容を伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	いらか通信や、その他の表に出る文書等については、職員間でチェックし合い、個人情報が漏れないように努めている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	障がいのある子どもに対しては、言葉、身振り及び絵などを示し、意思の疎通を図れるように努めている。保護者に対しては、子どもと職員のやり取りをお伝えして、共有化を図れるように努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	事業所の行事に、地域の方が参加することはない。	今後は、地域のニーズを踏まえながら、事業所の行事に、地域の方々を招待することも検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを整備し、全職員や全保護者へ周知している。また、事故等を想定した訓練も定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPを策定し、自然災害BCPや感染症BCP等に係る研修・訓練を実施している。	想定される緊急事態に速やかに対応することができるよう、BCPの見直しを図っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	保護者から説明を受けている子どもに対しては、全職員間で子どもの状況を確認し合っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者からの要望を受けた場合は、要望どおりの対応をしている。また要望は、全職員間で共有を図っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	事業安全計画を作成し、安全点検・安全指導・訓練及び研修を行っており、非常時に速やかに対応できるように心がけている。	今後も、非常時に速やかに対応ができるように、安全な事業運営に努めていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	保護者へ避難訓練の様子を伝えたり、子どもや保護者へ安全指導等を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	今年度、起きたヒヤリハットを文書化し、職員間で情報を共有し、再発防止に努めている。	今後も、いつでも、どこでも危険なことが起きることを確認して、事業運営を行っていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止に係る事業所内研修を実施している。また、法人内での研修にも積極的に参加して、職員の意識の高揚を図っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束は、必要に応じて保護者へ説明し、保護者から同意を得て、サービス計画に記載している。	今後、利用者の人としての尊厳を守るために、身体拘束の廃止について検討していきたい。	